

## 二十歳の誓い

小さいときおとなしい子どもだった私が、今これだけの人たちの前でこうして話しているのが不思議な気がします。

私は三人兄弟の次男で自分から話しかけたりしない、人見知りをする子どもでした。そのせいかいつも兄や弟からいじめられてばかりで、自分をもっと表現したいと心の中では思っている、勇気を出すキッカケがありませんでした。

特に目立つこともなく過ごしていた小学生の時、最初の転機が訪れたのです。各学年が全校生徒に対して劇や歌を披露する集会の司会役をしてみないかと、薦められたのです。400人もの大人数の前に出て話すなんて僕にはできないし、失敗することへの恐怖と不安でいっぱいでしたが、「自分を変えたい!」「変わるなら今だ!」と引き受けたのです。正直、あまり上手に話せていなかったと思います。ですが、発表会が終わった時には安心感でいっぱい、心の隅にはほんの少しの達成感もありました。自分が閉じこもっていた殻にこの時少しヒビが入ったような気がします。

中学生になってからは、自ら立候補して学級委員や部活動の部長にもなりました。しかし、自分の考えとは違う部員と何度もぶつかり、いくら正論を言っても、相手の心は変えられないのに、自分の意見を相手に押しつけ、中学校では人をまとめる難しさを知りました。

そして、高校で生徒会長になって、人の話を積極的に聞くようになってから、仲間とのつながりを感じはじめ、校長先生に生徒の要望をかけ合うときにも、勇気を与えてくれて私を支えてくれたのは仲間でした。

これまでを振り返ると、積極的に人の中に入って行くことで自分を知り、様々な人から刺激を受け、いつの間にか自分の殻を破り、今ここに立っています。学校とは別のボーイスカウトの活動を通して、カッコいい人にたくさん出会い、「あきらめない」「くじけない」そして「根性」を叩きこまれました。これからの人生にはきっと役立つと思っています。

私がそうであったように、これからは私も人に影響を与えられる人になりたいと思っています。本気で自分を生きてみようと思います。そのために精進していくことを二十歳の誓いとさせていただきます。

平成29年1月9日 新成人代表 梶原 基